
赤潮警報続報
 シャットネラ アンティーカ
 コクロディニウム ポリクリコイデス
 カレニア ミキモトイ

鹿児島県水産技術開発センター
 令和 5 年 9 月 5 日

八代海赤潮警報 No. 1-15

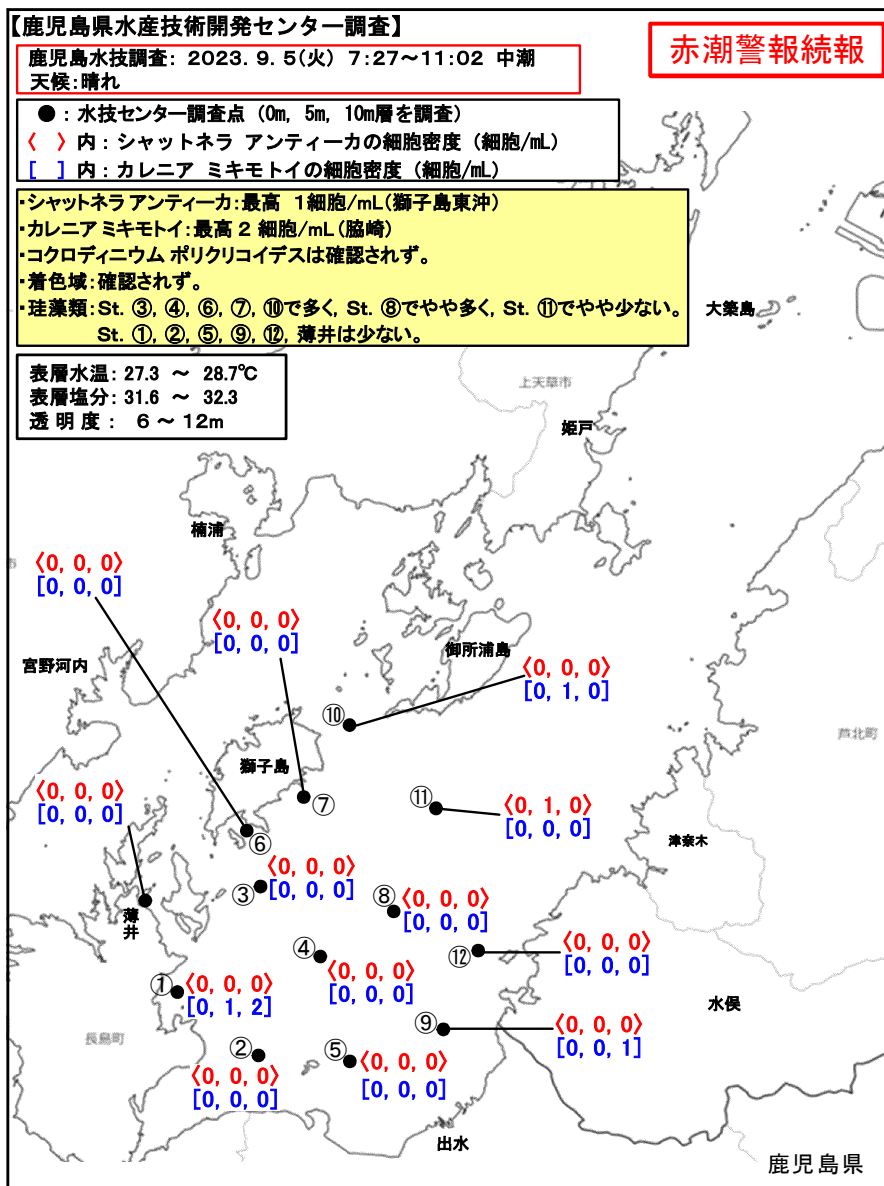
[1] 9月5日の調査結果（水産技術開発センター）

シャットネラ アンティーカは獅子島東沖で1細胞/mL確認されました。また、カレニア ミキモトイは脇崎で最高2細胞/mL確認されました。なお、コクロディニウム ポリクリコイデスは確認されませんでした。

[2] 今後の赤潮発生の予想

シャットネラ アンティーカ及びカレニア ミキモトイは引き続き細胞数は少なく小康状況が続いています。競合種である珪藻類が増加傾向の定点が確認されましたが、引き続き少ない定点もあります。

各漁協・養殖業者などにおかれましては、漁場周辺の採水・検鏡により十分な監視をお願いします。また、海の色や魚の状態に細心の注意を払うとともに、必要に応じて餌止めや避難方法の確認等を実施してください。



- ※シャットネラ アンティーカの特徴
- ・適水温23~26℃
 - ・適塩分30以下
 - ・魚毒性がきわめて強く、致死細胞密度はブリ類で30-50細胞/mL
- ※カレニア ミキモトイの特徴
- ・適水温10-30℃
 - ・適塩分15-30
 - ・魚毒性が強く、致死細胞密度は数千細胞/mL前後。魚介類（ブリ、タコ、貝類など）に被害を及ぼすおそれあり。
- ※コクロディニウム ポリクリコイデスの特徴
- ・適水温27-28℃
 - ・適塩分32-34
 - ・魚毒性が強く、致死細胞密度は2千細胞/mL前後

赤潮情報(携帯用)：<http://kagoshima.suigi.jp/akashi-hio/i/index.shtml>
 赤潮情報(パソコン用)：<http://kagoshima.suigi.jp/akashi-o/newHP/index.html>

